



袋井あやぐも学園

袋井市立袋井中学校だより



— 自主・協同 —

～夢を追い続ける生徒の育成～

令和4年9月28日発行

幼小中一貫カリキュラムにより自主（Iの力）と（Weの力）を育成する学園

今年度の学力・学習状況調査(全国版・袋井版)の結果を受け、本校で結果を分析し、本校の生徒に見られる表れを中心に絞って以下に記述しました。

全国平均正答率を「☆☆☆」とした場合の本校生徒の正答率  
高い☆☆☆☆☆ やや高い☆☆☆☆ やや低い☆☆ 低い☆

全国学力・学習状況調査結果(3年生) 全国平均☆☆☆

Table with 8 columns: 国語, 言葉の特徴や使い方に関する事項, 情報の扱い方に関する事項, 我が国の言語文化に関する事項, 話すこと聞くこと, 書くこと, 読むこと. Rows include 国語, 数学, 理科 with national and school-specific data.

袋井版学力・学習状況調査(2年生) 全国平均☆☆☆

Table with 5 columns: 国語, 言語・情報・言語文化, 話すこと・聞くこと, 書くこと, 読むこと. Rows include 国語, 数学 with national and school-specific data.

Table with 4 columns: 学年, 教科, 課題, 指導の改善点. Rows for 3年 (国語, 数学, 理科) and 2年 (国語, 数学).

## 生活習慣や学習環境に関する生徒質問紙調査(2、3年生)の顕著な結果

※[ ]の数値は、全国調査と比較した「はい」「どちらかと言えば『はい』」と回答した生徒の割合

<◎本校生徒のよいところ>

- |                                    |               |
|------------------------------------|---------------|
| ・自分には、先生や友達からほめられるような得意なことがある。     | (2年) [+4.8%]  |
| ・黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。 | (2年) [+5.4%]  |
| ・今住んでいる地域の行事に参加している。               | (3年) [+25.5%] |
| ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。        | (3年) [+7.4%]  |
| ・人の役に立つ人間になりたいと思う。                 | (3年) [+8.8%]  |
| ・1、2年生の時に受けた授業で、ICT 機器を使用している。     | (3年) [+34.6%] |

<▼本校生徒の課題>

- |  |              |
|--|--------------|
| ・ゲームやケータイ、スマートフォンでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。 | (2年) [-6.6%] |
| ・授業で習ったことを普段の生活と結びつけて考えている。                      | (2年) [-9.9%] |
| ・携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。   | (3年) [-9.1%] |
| ・家で自分で計画を立てて勉強をしている。                             | (3年) [-5.4%] |

この報告は、今年度の学力・学習状況調査(全国版・袋井版)の結果を受け、本校で結果を分析し、本校の生徒に見られる表れに的を絞って記述しています。

学力調査の結果から、国語科・数学科・理科の課題が見えてきました。3年生では、国語科の「読むこと」、数学科の「関数」、理科の「実験方法等の考察する力」、2年生では、国語科の「言語・情報・言語文化」、数学科の「データの活用」に課題があることが浮き彫りになりました。今後、これらのことに課題意識を持ち、対策に取り組んでいきます。また、国語科・数学科・理科だけではなく、他の教科からのアプローチも検討しています。具体例としては、社会科での問題の読み取りや記述問題に対する取組は、国語科の「読むこと」へのアプローチになるのではないかと考えています。すべての職員でこれらの課題を共有し、授業や教科だけでなく、学校生活の様々な場面・方向からアプローチしていきます。

生徒の意識調査から見られる心の成長は、魅力ある学校づくりで幼保こ小中が連携し、共通に取り組んでいる「ボイスシャワー」と「聞く指導」を通して、自己肯定感や自己有用感を育ててきた結果だと思えます。これまで同様、幼小中一貫教育では、これらの取組が「学びの土台」となるものとして大切にしています。また、彩雲祭(体育大会)や生徒会が行っているピンクシャツデーなどの取組が、生徒の主体性を育成する大切な機会となっています。さらに、昨年同様、特徴的な結果として、国の GIGA スクール構想を受け、県下でも一早く、児童・生徒一人に一台ずつタブレットを導入した結果、授業における ICT 機器の使用については、昨年に引き続き2、3年生とも全国平均を大きく上回りました。また、生徒が ICT 機器を使って意見交換を行ったり(+12.3%)、調べ学習を行ったりすること(+13.5%)についても、全国平均を大きく上回っており、タブレットを導入した成果が確実に表れていると感じます。本校としても、ICT 機器活用の研修を進め、教員の技能を高めながら、より良い活用方法を模索していきます。

今後の課題としては、昨年に引き続き ICT 機器の取扱い方と家庭学習への取組があげられます。生活の中に溶け込んでいる ICT 機器は大変便利なツールですが、その取扱い方が様々な場面で課題とされています。意識調査の結果からも、スマートフォンの使い方のルールなどに課題が見られ、同様の傾向が読み取れます。また、家庭学習への取組や家庭での時間の使い方についても、本校生徒の課題です。本校では、学びづくり部や授業づくり部が中心となり、家庭学習の内容や方法についての取組を進めております。家庭学習については、幼小中一貫教育でも重点項目となっていますので、さらにより良い家庭学習の内容や方法の紹介をしていきます。

今後も、中学校だけではなく、袋井あやぐも学園内の幼稚園・こども園・保育園、小学校とも課題を共有し、連携しながら課題の改善に向けて進めていきます。御家庭とも連携・協力をしながら改善をしていきたいと思っておりますので、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。